

環境工学コース カリキュラム・ポリシー

(博士前期課程)

1. 「専門」としての「環境ソリューション分野」では環境工学の基盤となる知識や方法論を確実に身につけ、資源・エネルギー、都市代謝、自然共生に携わるための技術を高めていく。特に、「環境工学研究法 a および b」において、環境工学に関わる研究活動を実施するための基本的な考え方と成果を発信するための技術を高度化する。
2. 「専門横断」においては、化学・環境・生命工学専攻の幅広い技術を理解し、それらをもとに研究を進めるための科目群を置き、幅広い視点から課題解決を行う技術やツールを身につける。特に、「基盤テクノロジーセミナーa および b」ならびに「研究倫理特論」においては研究活動を始めるに当たっての、さまざまな情報収集および評価法などを修得し、また技術者倫理をはじめとする専攻分野に関わる倫理観を醸成する。
3. 「共通横断」には数理科目および学際科目を置き、専門教育・研究活動に必要な工学分野の知識と英語力を増進する。